

道路

道路境界線

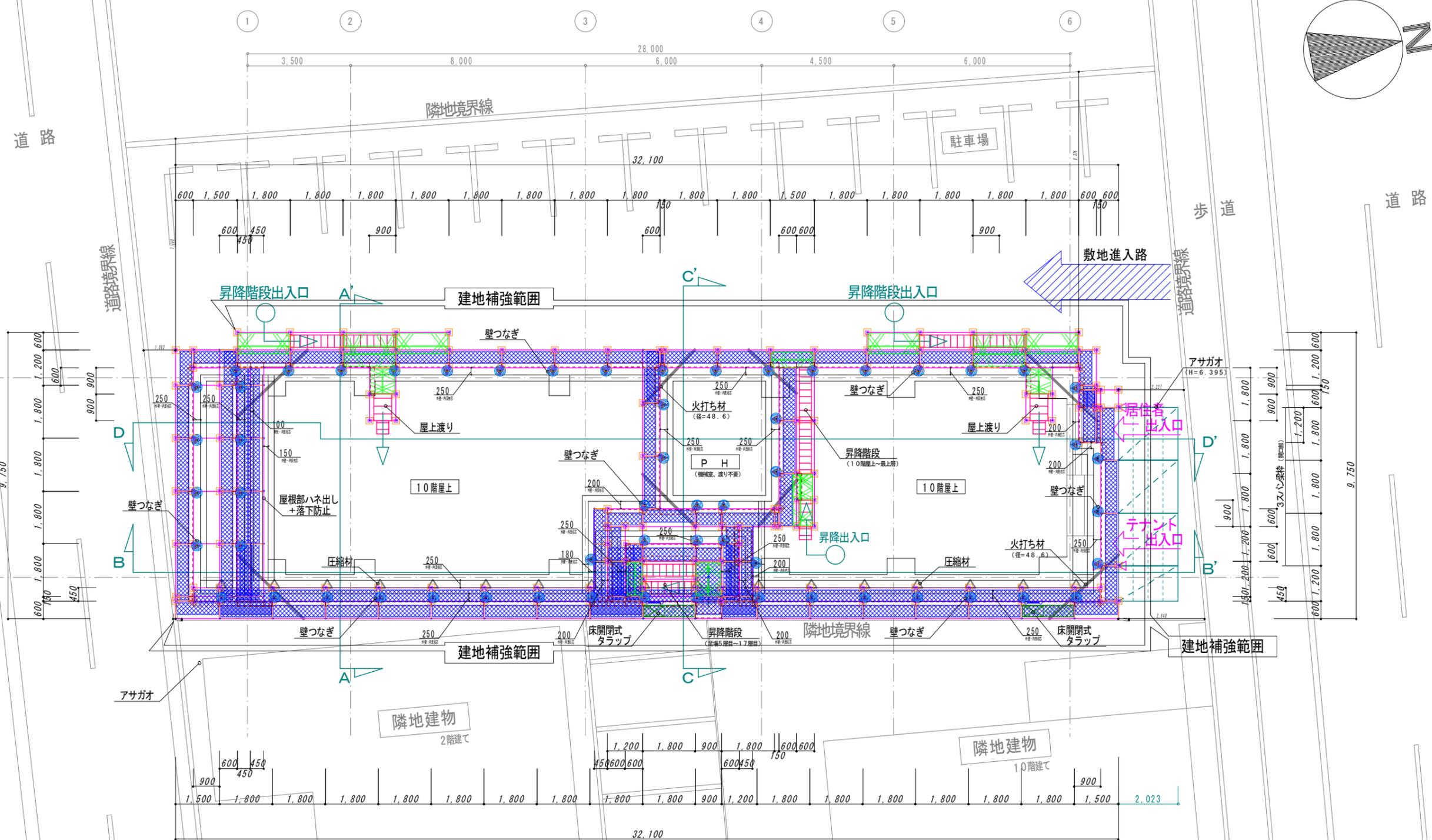
隣地境界線

駐車場

歩道

道路

敷地進入路



凡例

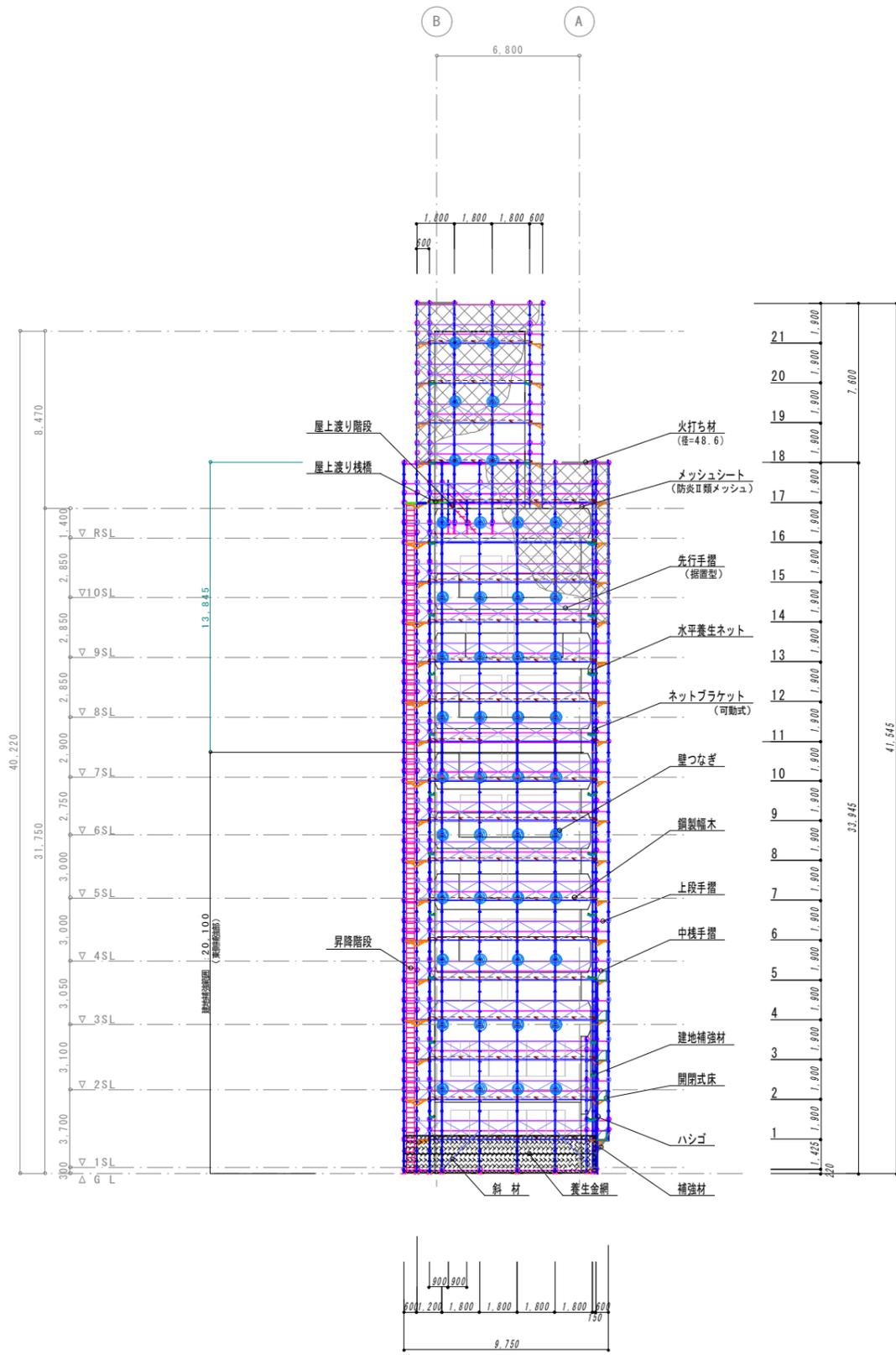
	作業床 (昇降設備)	F-4018・F-4015・F-4012 ~F-4009・F-01.5 F-2418・F-2415・F-2412 ~F-2409・F-24006・F-01.5		昇降階段	K-18C・K-09D・KB-06E・HK-B
	布材 (手置材)	T-18・T-15・T-12 ~T-09・T-06・T-01.5 (φ42.7)		火打ち材 補強材	5m ~ 1m (φ48.6)
	壁つなぎ材	1303NF ~ 1806NF 自在1~4型・2段A~C型		アサガオ	落下防止機材 FZII 落下防護機 F-5018・F-2518
	支柱	BK-A・BK-C・BK-D・BK-E・BK-G ~BK-DG・BK-EG・BK-C47 (φ48.6)		壁当て圧縮材	AS-B・AS-BE
	ジャッキベース	PJB-6 PJJ-6 (傾斜部) (φ41.7)			
	鋼製敷板	S-12 (240 x 240)			
	鋼製橋木	BL-1518N・BL-1515N・BL-1512N ~BL-1509N・BL-1506N (φ42.7)			

※ 各部材の詳細は、部材一覧表・認定書を参照

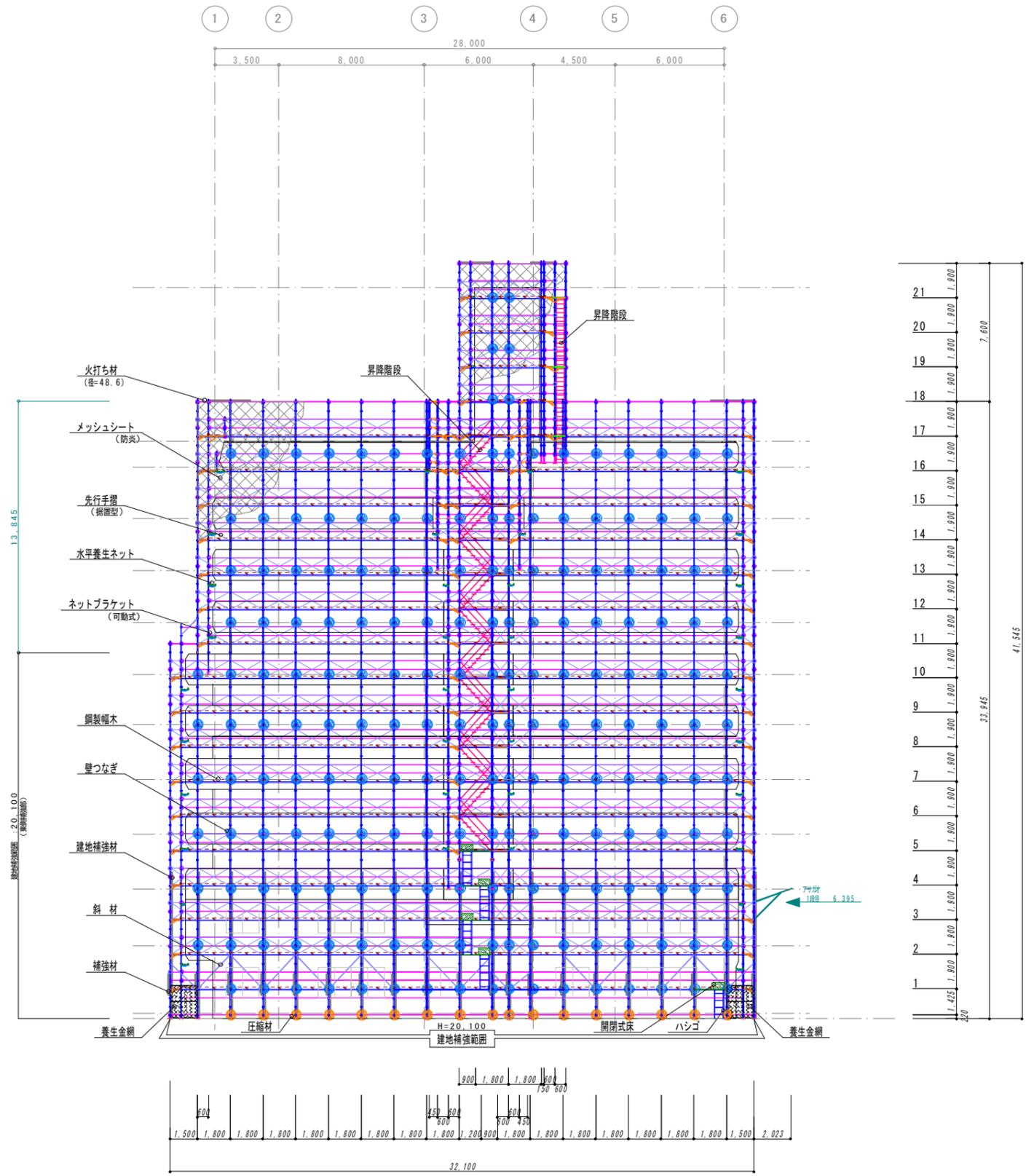
特記事項

<ul style="list-style-type: none"> 外部足場は全面、メッシュシート張りとする。 本足場(W=600)最大積載荷重は200Kg/スパンとする。 ブラケット足場最大積載荷重は150Kg/スパンとする。 物体の落下防止措置として、各階毎2スパン以内毎にネットブラケットを使用し、水平ネットを設置する。 ネットのたるみ・重なり部は、1スパン毎に設置 壁つなぎは、各階1,800以内を設置する。 地盤の高低差は、ジャッキベースにて調整を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 足場の上下において上下作業の禁止とする。 ブラケット足場の床板は40cmを確保し、設置困難な部位は標識を設置し、墜落制止用器具の使用を入場者に徹底する。 出入口上部に水平養生(コンパネ養生)を設置する。 足場組立・解体時は先行手摺を使用し、躯体側に親綱も併用する。 最下段養生金網(3面)張りとする。 足場板重ね部は番線2箇所以上で固定する。 足場端部は妻手摺(H=475-950)を2段取り付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 足場からの落下防止措置として、外側先行手摺内側手摺(H=950)・中棧手摺(H=475)を設置する。 床材と建地の隙間は12cm未満とする。 床材と床材の隙間は3cm以下とする。 ●は、壁つなぎ位置を示す 全体設置: W1.8 x H3.1 以内の設置とする。 東側 既存フェンスに支柱が当たるため、GLより高さ1,580mmよりハネ出し施工とする。
--	--	--

南側 立面図 S=1/200



東側 立面図 S=1/200



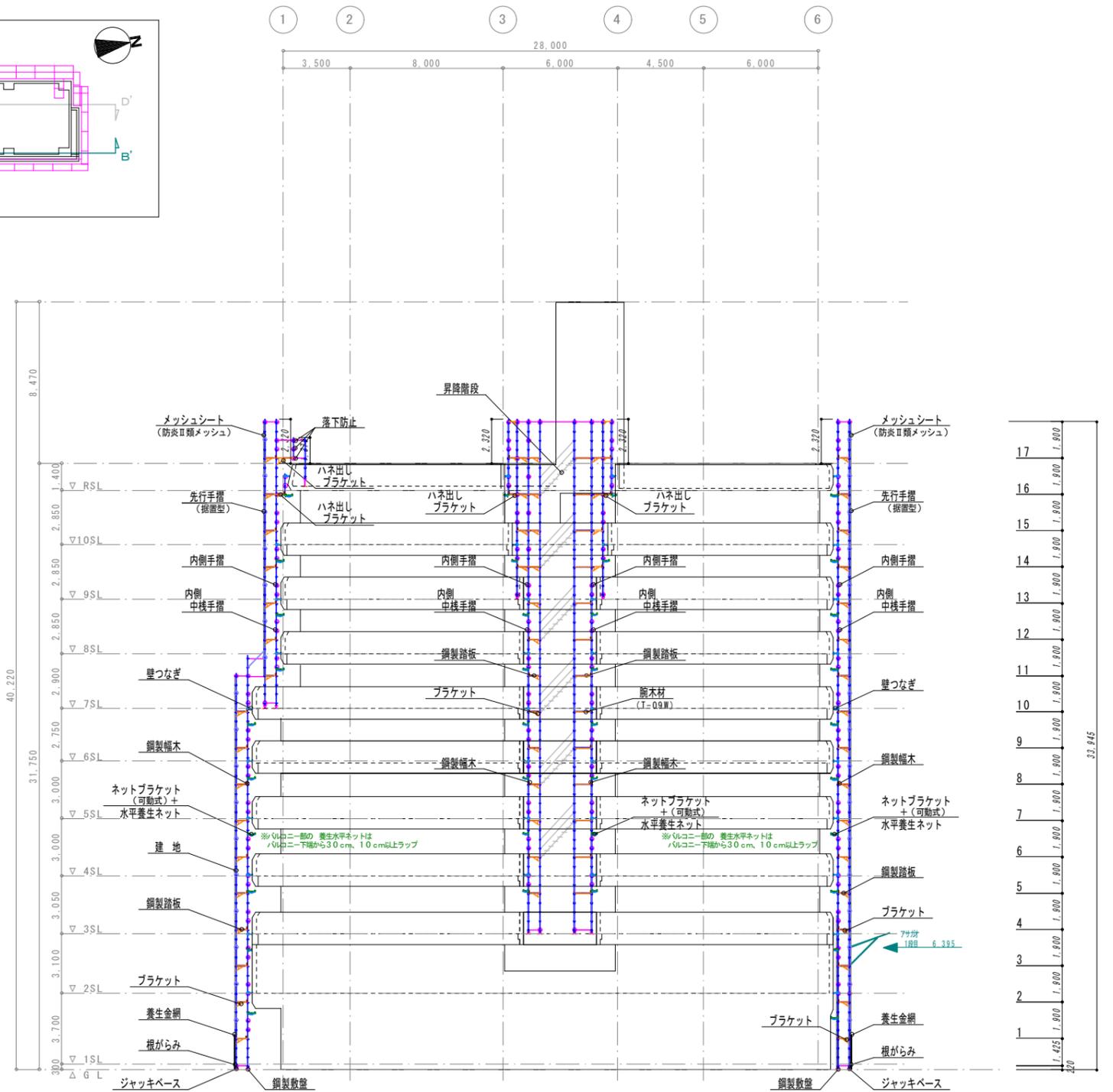
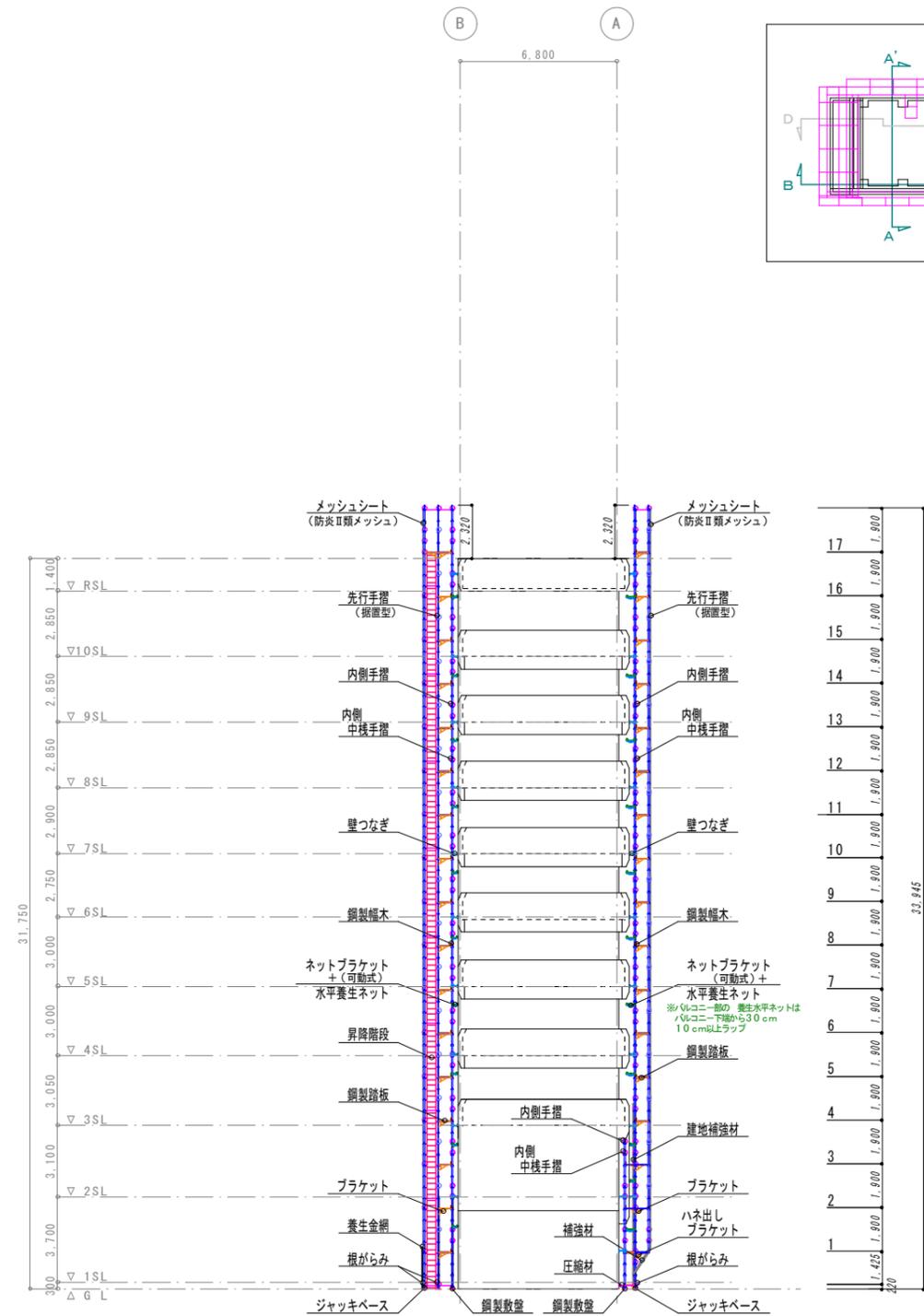
凡例
壁つなぎ

<ul style="list-style-type: none"> ・外装仕上げは全面、メッシュシート張りとする。 ・本足場（幅=6.00）最大積載荷重は200kg/㎡とする。 ・プラケット足場最大積載荷重は150kg/㎡とする。 ・物体の落下防止措置として、危険高2.5m以内には、ネットブラケットを使用し、水平ネットを設置する。 ・ネットのたるみ・重なり部は、1.5m以内にて調整する。 ・壁つなぎは、各層1.800以内にて設置する。 ・地盤の調査等は、ジャッキベースにて調査を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・足場の上下において上下作業の禁止とする。 ・プラケット足場の取付は40cmを確保し、設置間隔は網は、網目を閉鎖し、整列禁止用器具の使用を人場等に確保する。 ・出入口上部には水平養生（コンパ養生）を設置する。 ・足場結束・解体時は先行手摺を使用し、解体時に網も併用する。 ・最下段養生金網（3層）張りとする。 ・足場板裏面は各層2部所以上にて固定する。 ・足場結束は養生層（H=4.75-9.50）を2段階で行ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・足場からの落下防止措置として、外側先行手摺 ・内側手摺（H=9.50）・中棧手摺（H=4.75）を設置する。 ・足材と建地の隙間は12cm未満とする。 ・足材と足材の間隔は3cm以下とする。 ・壁つなぎは、壁つなぎ位置を示す ・全体設置：幅1.8×H3.1以内の設置とする。 ・実測：既設フェンスに支柱が当たるため、G.Lより高さ1.580mmよりハシ出し施工とする。
--	--	---

工事名称	仮設足場計画図	図面番号	南・東側 立面図	枚数	3/8	図面縮尺	1/200	図面サイズ	A 2	作成日	
------	---------	------	----------	----	-----	------	-------	-------	-----	-----	--

A-A' 断面図 S=1/200

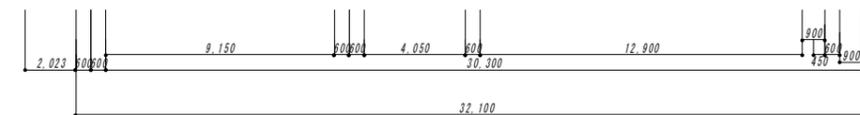
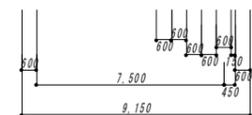
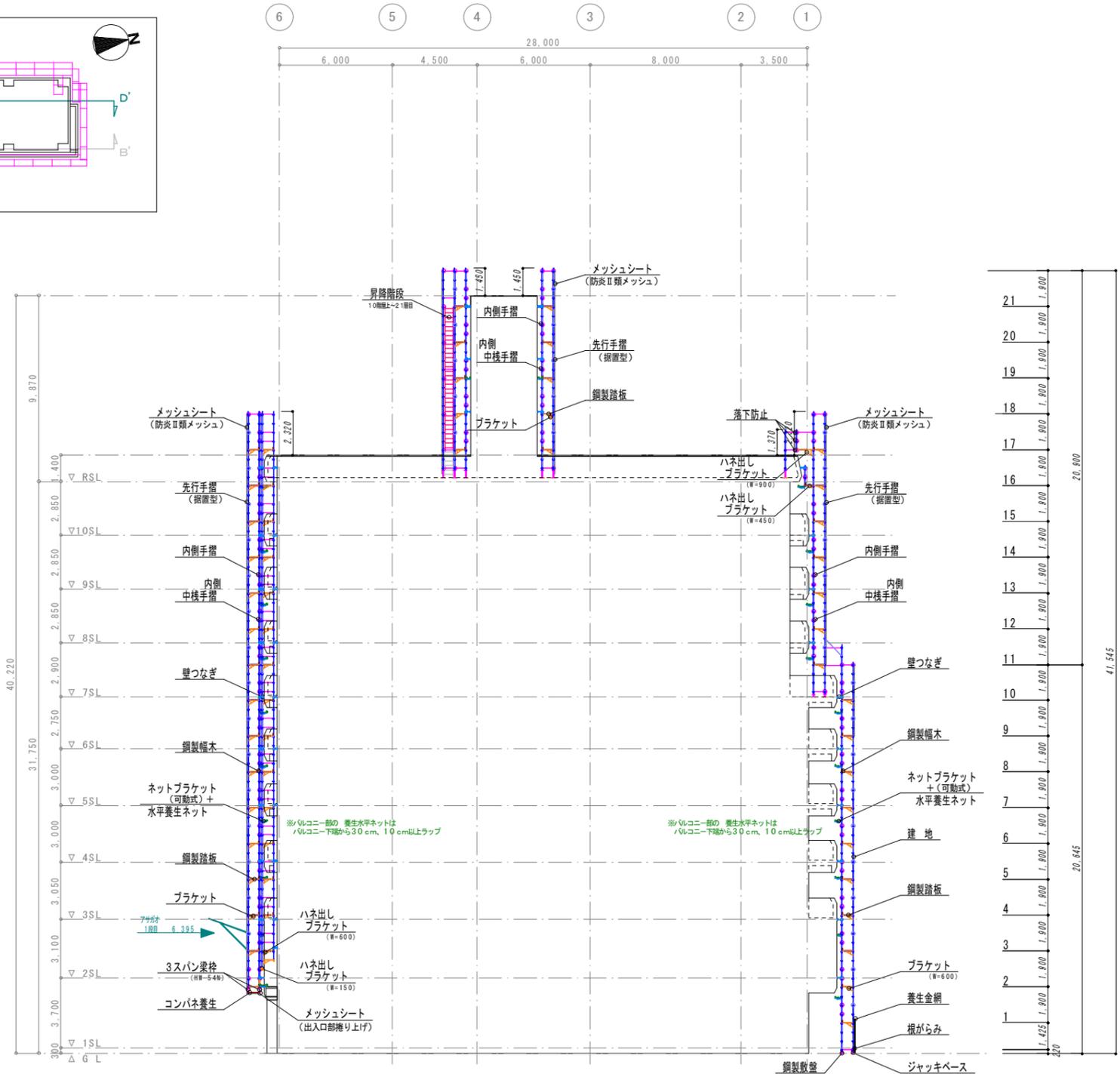
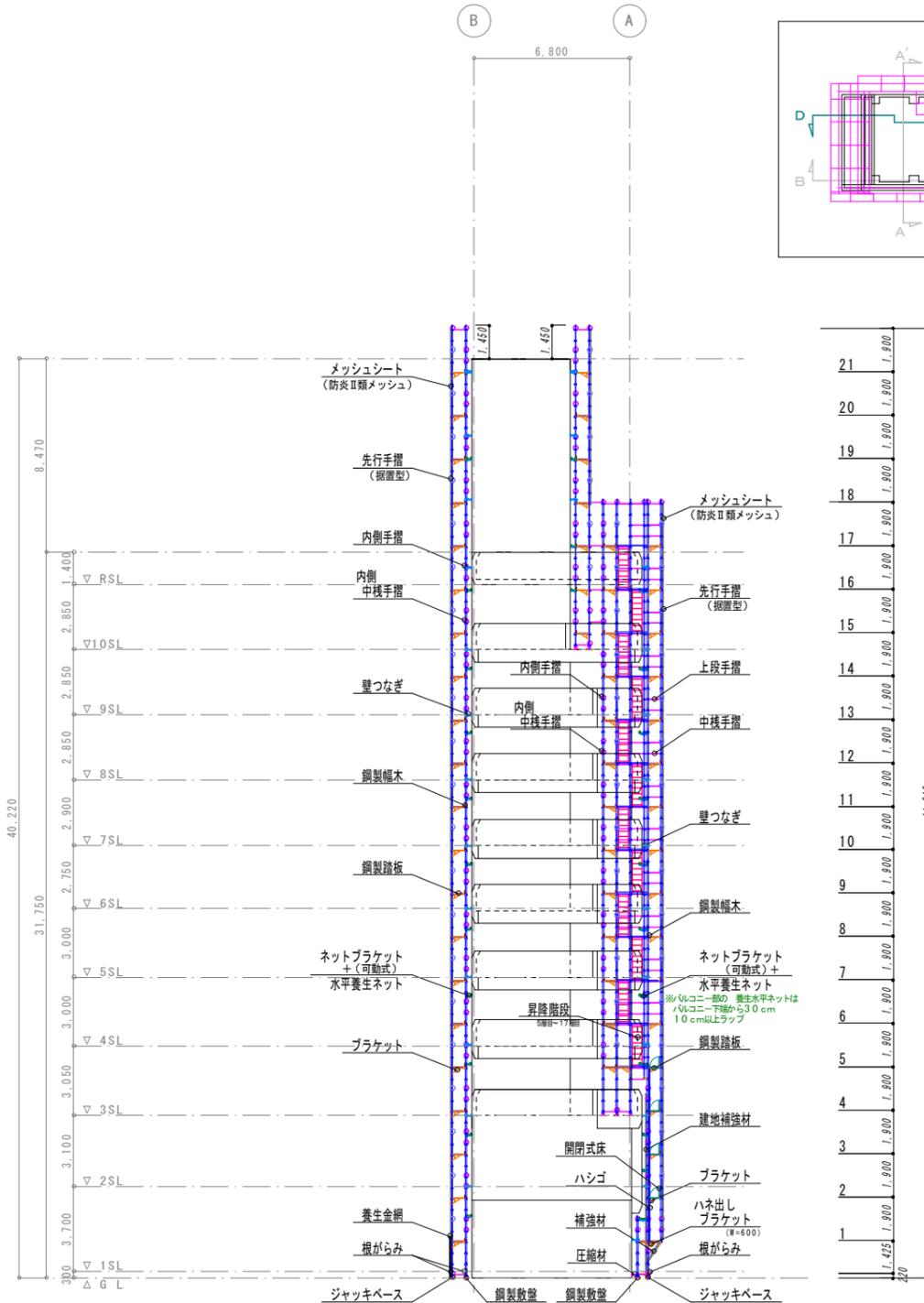
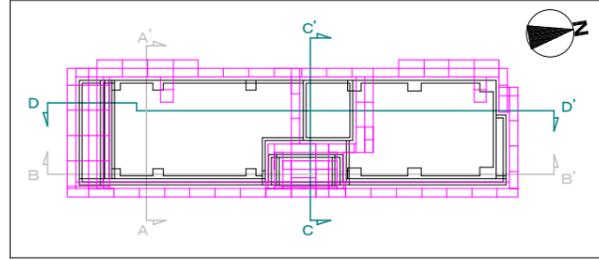
B-B' 断面図 S=1/200



<ul style="list-style-type: none"> 外観塗装は全面、メッシュシート張りとする。 本足場 (W=600) 最大積載荷重は200Kg/㎡とする。 ブラケット足場最大積載荷重は150Kg/㎡とする。 物体の落下防止措置として、各階毎2スパン以内にて、ネットブラケットを 設置する。 ネットのたるみ・重なり部は、1スパン毎に 設置 壁つなぎは、各階 1.800以内にて設置する。 足場の撤去は、ジャッキベースにて行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> 足場の上下において上下作業の禁止とする。 ブラケット足場の取付は40cmを確保し、設置間隔は制は 欄干を設置し、壁面制止用器具の使用を現場にて実施する。 出入口上部に本足場を (コンクリート養生) を設置する。 足場結束・解体時は先行手摺を使用し、解体時に欄干も併用する。 足場板重なり部は各階2箇所以上にて固定する。 足場結束は養生網 (H=4.75-9.50) を 2階取り付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 足場からの落下防止措置として、H側先行手摺 内側手摺 (H=9.50)・中横手摺 (H=4.75) を 設置する。 足材と壁材の間隔は12cm未満とする。 足材と壁材の間隔を3cm以下とする。 壁つなぎは必ずしも必要 全体設置：#1.8×H3.1 以内の設置とする。 実測 既設フェンスに支柱が当たるため、 足場結束は養生網 (H=4.75-9.50) を 2階取り付ける。 GLより高さ 1.580mmよりハネ出し施工とする。
--	---	--

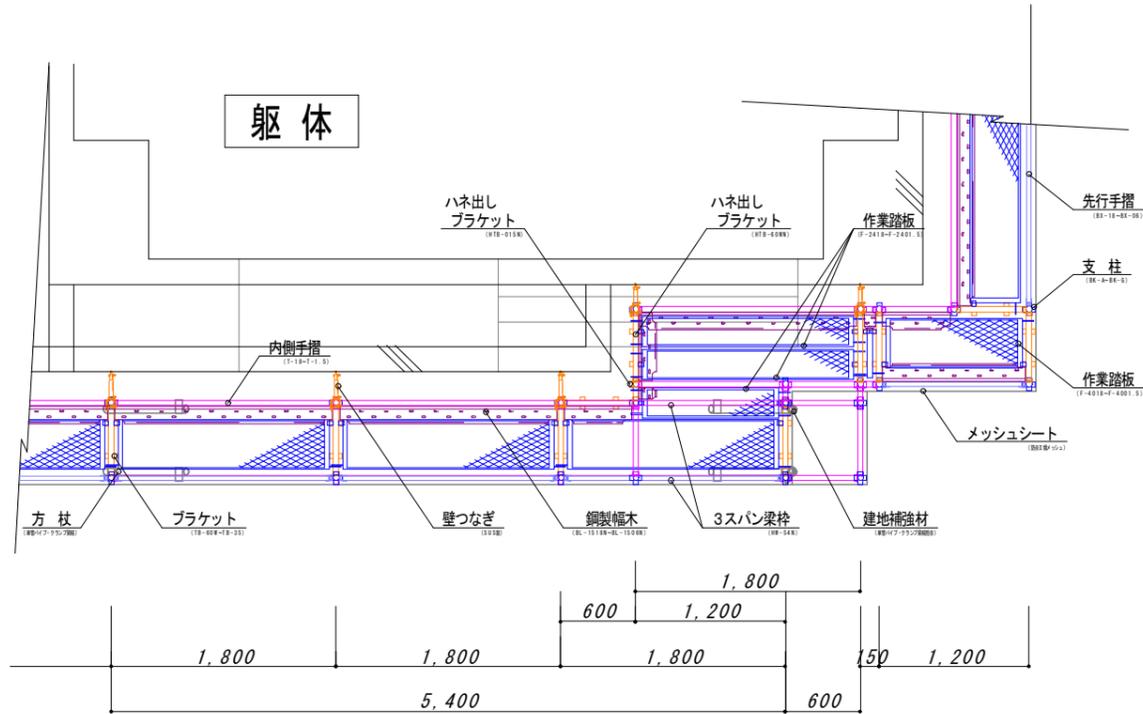
C-C' 断面図 S=1/200

D-D' 断面図 S=1/200

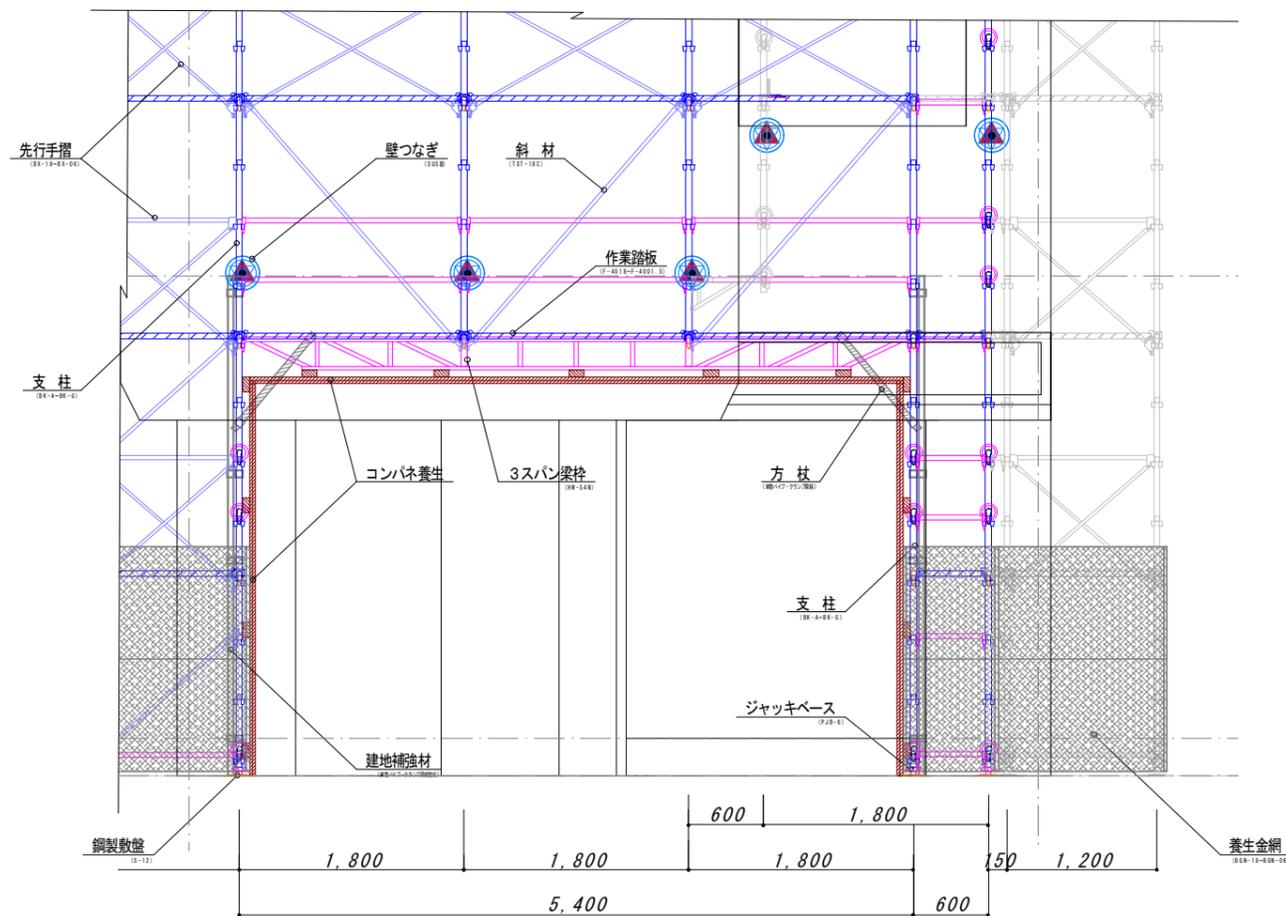


特記事項		
外観塗装は全面、メッシュシート張りとする。	足場の上下において上下作業の禁止とする。	足場からの落下防止措置として、H側先行手摺
本足場 (W=600) 最大積載荷重は200kg/㎡とする。	フック受の取付高は40cmを標準とし、設置間隔は別記とする。	内側手摺 (H=950)・中側手摺 (H=475) を設置する。
フック受足場最大積載荷重は150kg/㎡とする。	欄干を設置し、墜落防止用器具の使用を人場等に厳禁する。	足場と建物の隙間は12cm未満とする。
物体の落下防止措置として、危険な2スパン以内にて、	出入口上部には水平養生 (コンパネ養生) を設置する。	足場と建物の隙間は3cm以下とする。
ネットフックを 使用し、水平ネットを 設置する。	足場結束・解体時は先行手摺を使用し、解体時に網も併用する。	※は、壁つなぎを示す
ネットのたるみ・重なり部は、1スパン毎に 設置	足場養生金網 (3目) 張りとする。	全体設置: 1.8×H3.1 以内の設置とする。
壁つなぎは、各間 1.800以内にて設置する。	足場板重ね部は養生板2層以上で固定する。	※裏側 既存フェンスに支柱が当たるため、
足場の確保は、ジャッキベースにて調整を行う。	足場結束部は養生板 (H=475-950) を 2段階で行ける。	G.L.より高さ 1.580mmよりハネ出し施工とする。

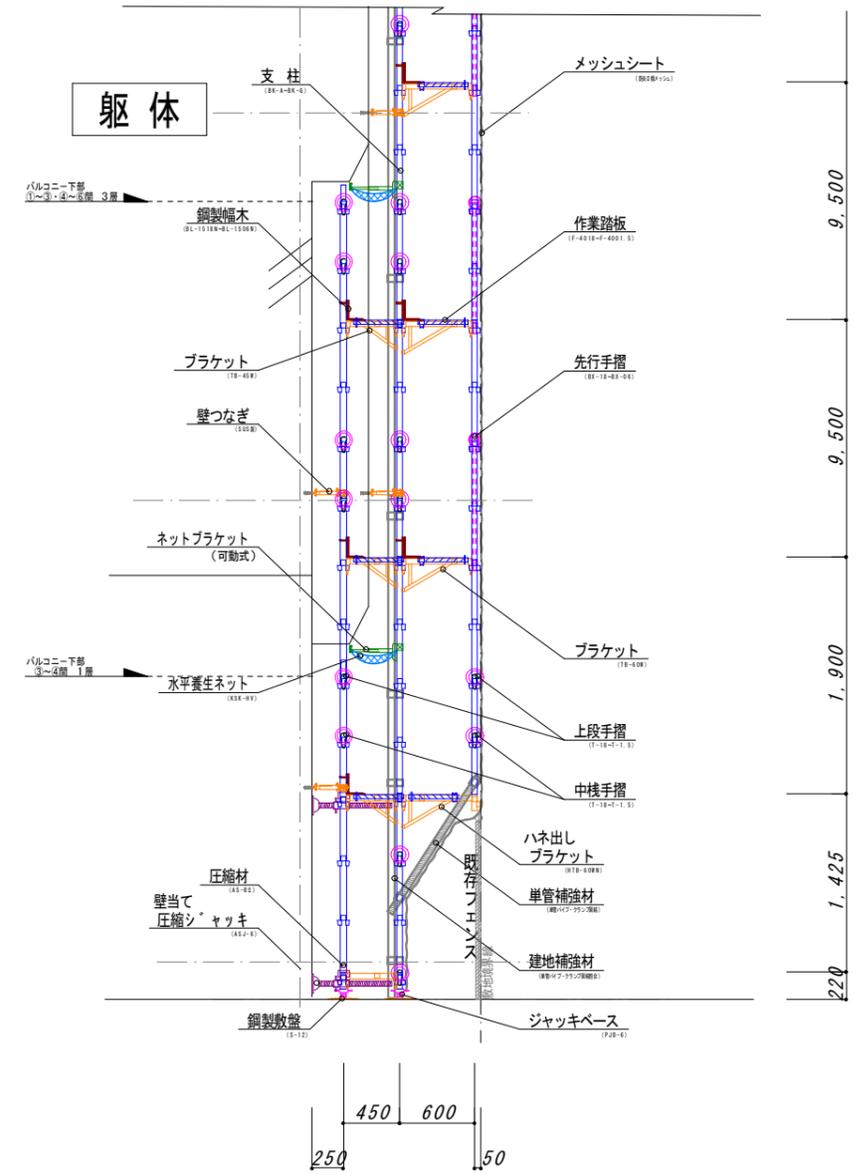
コーナー部・梁枠部 詳細図 1/40
※北側、西部



3スパン梁枠 詳細図 1/40
※壁つなぎ・層間ネット・幅木



ハネ出し部建地補強断面 詳細図 1/40
※東面



特記事項		
・外部足場は全面、メッシュシート張りとする。	・足場の上下において上下作業の禁止とする。	・足場からの落下防止措置として、外側先行手摺
・本足場 (W=600) 最大積載荷重は200Kg/スパンとする。	・プラケット足場の床板は40cmを確保し、設置困難な部位は	内側手摺 (H=950)・中横手摺 (H=475) を 設置する。
・プラケット足場最大積載荷重は150Kg/スパンとする。	・標識を設置し、墜落制止用具の使用を入場者に徹底する。	・床材と建地の隙間は12cm未満とする。
・物体の落下防止措置として、各階毎2スパン以内毎に	・出入口上部に水平養生 (コンパネ養生) を設置する。	・床材と床材の隙間を3cm以下とする。
ネットプラケットを使用し、水平ネットを設置する。	・足場組立・解体時は先行手摺を使用し、躯体側に取付も併用する。	・は、壁つなぎ位置を示す
ネットのたるみ・重なり部は、1スパン毎に 設置	・最下段養生金網 (3面) 張りとする。	全体設置: W1.8 x H3.1 以内の設置とする。
・壁つなぎは、各階1,800以内に設置する。	・足場板重ね部は番線2箇所以上で固定する。	
・地盤の高底差は、ジャッキベースにて調整を行う。	・足場端部は妻手摺 (H=475-950) を 2段取り付ける。	

